

015

沖縄探索講座～首里城再建を願って/ウチナーンチュ(沖縄の人)の語る南の島～
 <「おきつる協会」(横浜・鶴見沖縄県人会)とのコラボ講座>

講座内容

首里城正殿はじめかなりの建物の焼失には世界中の人々が驚き、悲しみました。その後の沖縄を探りながら、本講座は文化人類学の専門家、ならびに、沖縄県人会「おきつる協会」のご協力の下、沖縄の文学、料理・趣向品、沖縄民謡鑑賞、など、主に遺産・文化・芸術面から沖縄を見ていこうというものです。参加者の質問を歓迎します。なお、ここ数年(昨年、一昨年度は除く)、毎年6月に那覇市で大学のオープンキャンパス(大学紹介)を開催しており、沖縄との絆を深めています。

期 間	5月21日	受講料	2,500円 学生無料(※本学学生に限る)
曜 日	土曜日	定 員	30名
時 間	9:15～15:35	会 場	金沢八景キャンパス
回 数	全1回	持ち物	筆記用具
教 材	プリント(当日配布)を使用します。		

講座スケジュール

回数	日 程	時 間	内 容	担当講師
1	5月21日(土)	9:15～10:15	琉球弧見聞録—沖縄に行ってみませんか。 琉球見聞録として著名な柳田國男の『海南小記』から、「見聞の眼」を学びましょう。 首里城への柳田國男の思い、受講される皆様の思いは。沖縄への思いを育みましょう。「ひやみかせ」「えい」、「それ」と言って力を出そう。	大越 公平
		10:25～11:25	首里城再建への道のり～誕生から焼失を乗り越えて～ 1) 首里城誕生から焼失まで—誕生から焼失までを振り返る。 2) 首里城再建の取組み—再建に対する県内外の取組みと現状。	大城 浩
		11:35～12:35	沖縄の文学・芸術 1) 文学の力—作家・大城貞俊作品を読み解く。 2) 日本を変えた男・名護親方・程順則の「琉球いろは歌」を読み解く。 3) 沖縄方言絵本から沖縄の夏を彩る風物詩「エイサー」の魅力を読み解く。	大城 浩
		13:25～14:25	ウチナーンチュとのコラボ講座 1 トークショー、沖縄民謡を鑑賞、他 1) 私の故郷と横浜。首里城再建について。(県人会の代表者) 2) 沖縄の名物・料理・趣向品など。(名畑のぞみ氏) 3) 沖縄民謡—三線の楽器説明、演奏。(県人会)	講師:大城 浩、 沖縄県人会会長 他 司会:大越、御園
		14:35～15:35	ウチナーンチュとのコラボ講座 2 これからの沖縄からカチャーシまで 1) 沖縄県人会の現状と将来。(県人会) 2) 沖縄の文化と世界遺産の今後の展望。 3) 沖縄民謡・舞踊鑑賞とカチャーシで締めくくり。	講師:大城 浩、 沖縄県人会会長 他 司会:大越、御園

講師紹介



コーディネーター

御園 和夫(みその かずお)

本学名誉教授 入試・教育アドバイザー
 英語学・言語学専攻。博士(言語学)。沖縄のリピーターでこれまでに150回以上の歴訪経験あり。本島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島、波照間島など主な島はほとんど歴訪。好物は泡盛(「おもしろ20年」,「泡波」など)。



大越 公平(おおごし こうへい)

本学名誉教授
 文化人類学・民俗学専攻。沖縄・奄美および東南アジア研究。カレンター文化研究。沖縄大学地域研究所特別研究員。沖縄への歴訪多数。昨年(2021)は、伊良部島(宮古)でサシバ(渡り鳥)を観察しました。好物は鳥らっきょうとフチャギ、ムーチャー。



大城 浩(おおしろ ひろし)

本学客員教授 元沖縄県教育長
 沖縄県の公立学校で英語教師を務めたのち、教育行政(指導主事、校長、教育長、沖縄県国際交流・人材育成財団理事等)を歴任。一般社団法人「沖縄の英語教育を考える会」代表理事。音楽(オペラなどを含む)にも造詣が深い。